

## 「土用の丑の日」

「土用」について調べたら、『特に、夏の土用のこと。七月二十日頃から立秋の前日までの一年中で最も暑い時期。』・・・とありました。

土用の丑の日は、「夏は鰻(うなぎ)を食べ、灸(きゆう)をすえ、冬は女性が紅を買う風習がある。」そうで、鰻を食べるといのは知っていましたが、お灸をすえることや、冬の寒中の丑の日に女性が紅を買う風習など、全然知りませんでした。

この文をお読みの頃は、夏真っ盛り、ビールはうまいが、体力を消耗する時期、土用の丑の日も間もなくの筈ですが、鰻でなくとも栄養をつけて暑い夏を乗り切りましょう。

暑くて食欲不振の方もいるでしょうが、反面、栄養をつけ過ぎて肥満に悩む方もいるような、いないような **hi**

決して私ではありませんぞ、誤解の無いように・・・断るところが怪しいか？

いずれにしても、仕事も遊びも、体力・気力、まさに「健全なる精神は、健全なる肉体に宿る」です。

体力を維持し、ますます無線に熱中し、無線に飽きたら、美味しい鰻を肴にビールをグイッとやりたいなあと思います。

(結局は、飲む話に落ち着きました **hi**)

こんな言葉も見つけました。

**彼岸太郎、八専次郎、土用三郎、寒四郎**

彼岸の1日目、八専の2日目、土用の3日目、寒の4日目のことだそうで、この日が晴天だとその年は豊作といわれたようです、知らないことが多いことを自覚しながら、今日は無線とパソコンとAC変調がメインの一日でした。

**2.Jul,2001 JJ1SXA**

第 50 号(平成 13 年 7 月発行)掲載